

## 第5回(通算第174回) 通常議員総会を開催

### 2023年度事業報告・収支決算、部会再編に伴う定款変更を承認

7月22日、神戸商工会議所は、第5回(通算第174回)通常議員総会を開催した。会頭、副会頭をはじめとする役員・議員の出席のもと、2023年度事業報告・収支決算並びに定款の一部変更など4件の議案が審議され、いずれも原案通り可決承認された。

#### 第1号議案

##### 2023年度事業報告の件

2023年度事業においては、ゼロゼロ融資の返済本格化や、エネルギー・原材料価格の高騰などに苦慮する中小・小規模事業者を対象に、金融や各種補助金申請の支援を行うとともに、国内外に向けた販路開拓の機会提供に注力。また、人手不足が深刻な経営課題となる中、人材確保に向けたマッチング事業や業務効率化に向けたデジタル化・DXの導入支援を行った。

加えて、脱炭素化を促進する展

示会や海外のスタートアップ企業との交流会のほか、市内製造業の振興を目的としたオープンファクトリー事業も行った。

都市機能の強化に向けては、都心・三宮再整備や道路ネットワークの早期整備を国や自治体へ求めると同時に、万博を契機としたビジネス交流促進を狙った、川崎会頭による神戸空港就航都市へのトップセールスなど、商工会議所自らが主体となるプロモーション事業にも積極的に取り組んだことを報告した。

#### 第2号議案

##### 2023年度収支決算の件

2023年度の会費・負担金、補助金・委託金、事業収入のほか、事業費・管理費など支出を含めた収支決算について報告を行った。

#### 第3号議案

##### 常議員の補充選任の件

常議員の補充選任については、(株)神戸製鋼所代表取締役社長の勝川四志彦氏、三菱重工業(株)神戸造船所シニアフェロー神戸造船所長



の柴戸要氏、(株)ワールド取締役の畑崎充義氏、神戸電鉄(株)代表取締役社長の井波洋氏の4名を選任した。

## 第4号議案 定款の一部変更の件

当商工会議所の組織体制を改めて整備し、活性化を図る観点から、本年11月1日に、現在の13部会から11部会に再編するため、定款の一部を変更することを審議し、承認した。

1996年に部会再編成を実施して以降、経済情勢や産業構造が大きく変更したことを踏まえ、部会に所属する企業群を的確に包含し、今後の部会運営を円滑に行えるよう、機械金属部会を機械・エネルギー部会に、集客交通観光部会を交通観光部会に名称変更すると

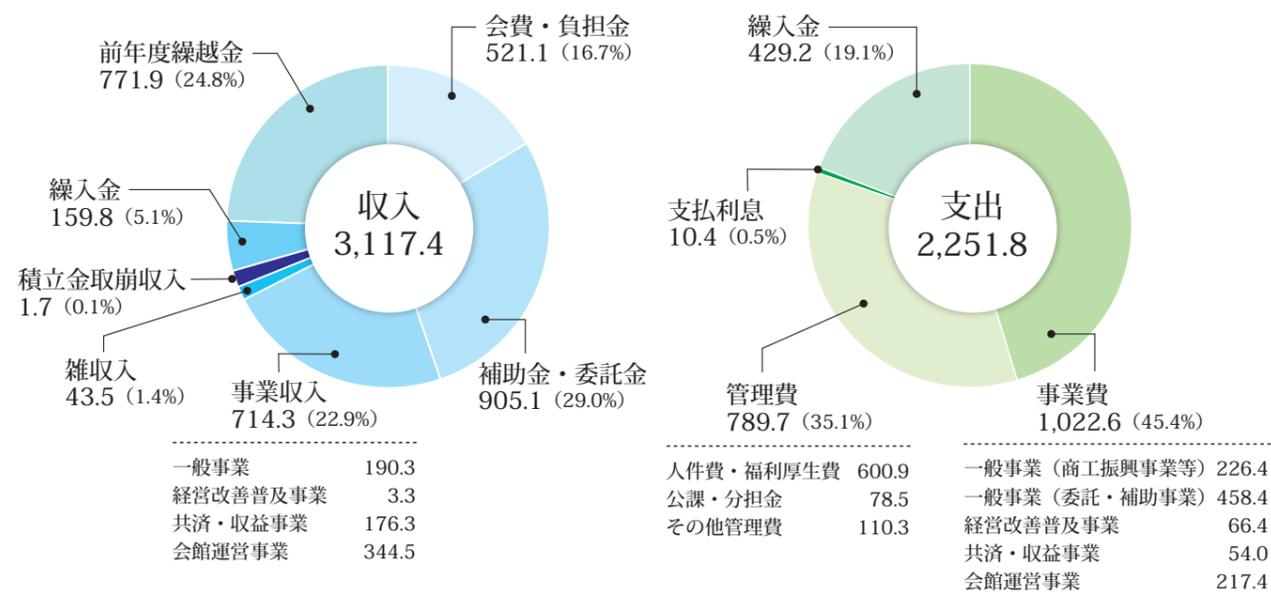


もに、新たに複数の部会を再編・統合し、生活産業部会、金融・専門サービス部会、情報・サービス文化部会を設置することとした。今後、事務局では、対象の部会員に所属部会や部会名称の変更について通知を行うなど、部会再編成に伴う事務を進めることも報告した。

以上の議案審議の終了後、兵庫県防災監の池田頼昭氏を講師に迎え、「震災30年に向けた兵庫県の取り組みと今後の防災活動について」をテーマに講演会を開催した。

## 2023年度 事業会計収支決算

(単位：百万円)



※特定退職金共済掛金保険料 (723.0百万円) および退職給付金 (827.1百万円) は除く。  
 ※収支差額865.5百万円は次年度へ繰り越す。  
 ※端数処理の関係上、各項目の金額と合計が一致しない場合や、構成割合の合計が100%にならない場合があります。

6.26

## メタバースのビジネス活用の今とこれからを考える

### 次世代産業委員会 DXセミナー

次世代産業委員会は、2026年には国内で1兆円超の市場規模に拡大すると予測されている仮想空間“メタバース”のビジネス活用の可能性を学ぶセミナーを開催した。

はじめに、メタバースプラットフォームのサービスを提供するmonoAI technology(株)の本城嘉太郎社長が基調講演。本城氏は、「AIの活用でよりリアルなコンテンツ生成が可能になった。使いやすいデバイスも開発されており、エンタメやイベント、教育などの分野で新たなビジネスチャンスが期待できる」と述べた。

続いて、(株)大丸松坂屋百貨店 経営戦略本部DX推進部の

今津貴博部長と岡崎路易専任部長が登場し、「これまで百貨店として培ってきたノウハウをバーチャル空間でも活用したいと考え、オリジナルアバター販売やメタバース活用支援を実施している」と紹介した。

次に、企業の生産性向上に向けてメタバースの活用を目指す“産業メタバース研究所”を設立した、(株)神戸デジタル・ラボの村岡正和執行役員が登場。産業メタバースの進展への期待を語った上で、「新たな革新技术を導入する際は、活用方法、導入の目的を事前に明確にしておくことが重要」と強調した。



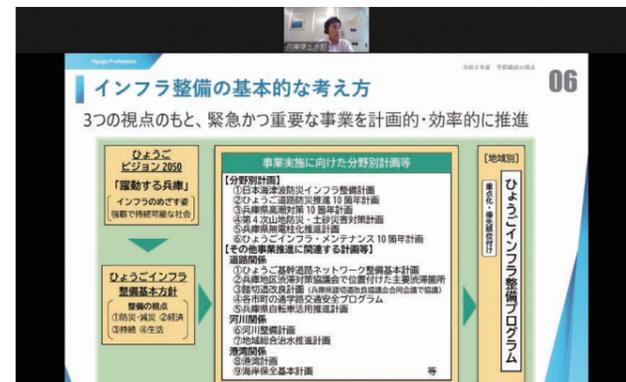
産業部産業振興チーム



6.25

## 兵庫県・神戸市の公共事業施策を聞く

### 建設部会 公共事業説明会



建設部会は、兵庫県・神戸市の令和6年度予算と公共事業の概要を紹介する、オンライン説明会を開催した。

まず、兵庫県土木部の宇野文章次長が、防災・減災、国土強靱化のための社会基盤整備に関する取り組みをはじめとした県の主要施策を紹介した。

続いて、神戸市行財政局の安居大樹副局長が予算のポイントと主な公共事業について、都市局の松崎吉希副局長が都心・三宮の再整備や拠点駅周辺のリノベーションなど重点プロジェクトの計画・進捗状況について解説し、参加者は今年度の施策に関して理解を深めた。

地域政策部

7.2

## 海外輸出の始め方&公的支援施策を紹介

### 国際ビジネス委員会 海外展開支援セミナー



国際ビジネス委員会は、海外輸出に取り組む地元企業を対象にセミナーを開催した。

長年、公的支援機関の海外販路開拓支援に従事する(同)トロの芳賀淳氏から、輸出の基礎知識や注意点について紹介。トラブル事例も交えながら、輸出ノウハウを分かりやすく解説し、「海外ビジネスでは、商習慣やコミュニケーションの違いなどを意識しながら取り組むことが重要」と述べた。

その後、(独)日本貿易振興機構神戸貿易情報センター、(独)中小企業基盤整備機構近畿本部、近畿農政局の担当者より各支援施策を説明した。

産業部国際チーム

7.9

## 「食」の先端技術を地元企業にPR

スタートアップピッチ「フードテックで『食』の課題解決にチャレンジ!」



神戸商工会議所、日本政策金融公庫、神戸市、アンカー神戸の4者共同で、最先端の技術で「食」の課題を解決するスタートアップによるピッチイベントを開催した。

廃棄される米から甘味料を開発する(株)オリゼ、コンニャクイモ由来のゼリー状素材を開発する(株)Sydecas、シルクの大量生産と加工技術でフード分野に貢献するユナイテッドシルク(株)、動物性食品をとらない“ビーガン”向けレシピサイトを運営する(株)ブイクックなど6社が登場し、自社技術をアピールした。参加者は、フードテックの最新の技術について理解を深め、ピッチ終了後には活発な交流が行われた。

産業部産業振興チーム

7.10

## 部下の異変を見逃さないリーダーへ

部下のメンタルヘルスを守る! 職場での円滑なコミュニケーション講座



上司が部下のメンタル不全を防ぎ、成長を促すコミュニケーションスキルを学ぶため、(株)オフィスムーブ代表取締役の濱田美雪氏を講師に迎えてセミナーを開催した。

濱田氏は、部下との信頼関係を深め、能力とやる気を高めるコーチングの重要性を説き、「相手を信じ、答えを導くパートナーになることが第一歩。傾聴を通じた対話で部下の可能性を引き出してほしい」と強調した。

参加者からは、「現場を想定したワークを行うことで、実践的な対話スキルが学べた」との声が聞かれた。

会員事業部事業推進チーム

7.12

## 複数企業の仲間とともに 入社3カ月の自己点検

新入社員3カ月フォローアップセミナー



新入社員を対象に、ビジネスマナーや報連相の基本を再確認すると同時に、成長意欲を高める思考法を学ぶため、(株)経営人事教育システムの華多真美氏を講師に迎え、セミナーを開催した。

華氏は、「失敗を成長の過程と捉えることで、レジリエンス力が身につく。挑戦し続け、成長の第一歩を踏み出してほしい」と強調した。

参加者からは、「社内に同期がいないため、研修で悩みを共有でき不安解消につながった。ビジネスの基本に大切にしながら業務に励みたい」との声が聞かれた。

会員事業部事業推進チーム

7.15

## 新たな飛行経路導入が合意され 神戸空港の発着枠拡大へ

第14回 関西3空港懇談会



関西、大阪(伊丹)、神戸の3空港の役割を官民で協議する「関西3空港懇談会」が開催され、川崎会頭が出席した。

懇談会では、昨年国が示した新たな飛行経路の導入について合意がなされ、関空の容量拡張と同時に神戸空港の国際化と国内線発着枠拡大の道筋が整った。

川崎会頭は、「神戸経済界として神戸以西の航空需要拡大、ビジネス需要創出のために国内外の都市を訪れ、兵庫・神戸の魅力を発信していく」と意気込みを語った。

当商工会議所では、引き続き神戸空港の利用促進に取り組み、その機能強化や利便性向上を働きかけていく。

地域政策部